牛深高校新聞

発行元
牛深高校新聞部
久玉町1216-5
TEL 73-3105
FAX 72-6605

濵元君インターハイ出場

南九州大会４位で出場権獲得

やり投４位の表彰を受ける濵元伸乃介

6月16日（木）～19日（日）に宮崎県でインターハイ予選を兼ねた南九州大会に陸上競技部２名が出場した。この大会で６位までに入賞するとインターハイに出場できるため非常に重要な試合であった。３年生の濵元伸乃介は１・２年生のときもこの大会に出場したがいずれも予選落ち。今年が高校生活最後のインターハイ出場をかけての試合となった。

小雨の降る中、試技順２番目が濵元の投てきであった。１本目、大きな放物線を描き55ｍ70の記録。この記録でほぼインターハイ出場を確実なものとした。残り５回の試技で記録を伸ばし優勝でインターハイ出場を決めたかったが、力みからか思うように記録を伸ばすことができず４位という結果に終わった。濵元は「インターハイに出場できることは素直にうれしいが、記録が納得いきません」と語った。

７月末から始まるインターハイでは自己ベストを投げ、入賞することを目標にしているので、これからインターハイまでしっかり調整し、悔いのない投げに期待している。

1年次選択科目ガイダンス

1年次では、「産業社会と人間」の時間で、２年次・３年次に履修する科目の選択を行いました。普通総合学科である本校では、１年間に学ぶ授業の多くを、自ら選択し履修します。将来の自分の進路にも大きくかかわるため、みんな真剣に科目選択に取り組んでいました。最初はなかなか上手くいかず、多くの1年次生が苦労しました。受講できない科目を選択している人や、必要な科目を選択していないため、全ての単位を取得しても卒業ができない選択をしている人もいました。しかし、試行錯誤の末、無事に次年度の科目を選択することができました。この科目選択をきっかけとして、自分の進路についてさらに深く考え、自分の夢を実現してほしいと思います。

来年度の選択に真剣に取り組む生徒たち

教育実習を終えて

教育実習生　橋本美優

6月6日から3週間、大変お世話になりました。皆さんの明るさ・優しさ・一生懸命さに毎日元気をもらい、多くのことを学ばせて頂いた３週間でした。これからも牛高生の良いところをどんどん伸ばして活躍してくださいね。

高校生活で培った力は将来必ず役に立ちます。今はわからなくても、今の経験が必ず将来に繋がると信じ、目の前のことに一生懸命になってみると、さらに実りの多い高校生活を送ることができると思います。一度きりの高校生活、全力で楽しんでください。またいつか会えるのを楽しみにしています。本当にありがとうございました。

高校総体結果

陸上競技部２名南九州大会出場

バレーボール部
初戦敗退
対翔陽高校０対２●

弓道部男子団体
１立目　８中
２立目　10中
予選敗退

弓道部女子団体
１立目　９中
２立目　８中
予選敗退

弓道部個人
村中大輔予選４中
準決勝２中（敗退）
原井、入江（予選敗退）

サッカー部
初戦敗退
対宇土高校　０対５●

男子バスケットボール部
男子初戦敗退
対翔陽高校29対60●

女子バスケットボール部
２回戦敗退
対高専八代64対35○
対玉名高校29対63●

ソフトテニス部団体
初戦敗退
対八代０対３●

ソフトテニス部個人
左崎・岩崎ペア
対熊本北４対２○
対水俣　１対４●
上口・森田ペア
対熊農　１対４●
小森・藤本ペア
対学府　０対４●

福永・高橋ペア
対熊本西４対１○
対大津　４対３○
対ルーテル０対４●
音山・米田ペア
対南稜　０対４●

陸上競技部
男子やり投２位濵元伸乃介（56ｍ72）

男子混成競技５位福本暁人（４５９４点）

男子円盤投６位森田永遠（33ｍ64）

男子ハンマー投7位倉田拳人（41ｍ02）

※濵元・森田は南九州大会出場

高校生と企業との交流会

平成28年6月24日（金）にホテルアレグリアガーデンズ天草で、今年度就職を希望している高校３年生と天草内の企業が集まり交流会が開催された。

第１部では、参加した高校生を前に、熊本県雇用環境整備協会とハローワーク天草の代表からそれぞれ挨拶があり、「高校生に対する求人は、一般の人に対する求人に比べてはるかに多くなっています。それだけ君達若い力は社会で求められています。だからこそ、今を大切にして、これからの長い人生でずっと働きたいと思える会社を見つけてください」と、これからの就職活動に向けてのメッセージが伝えられた。

第２部では、４つのグループに分かれた高校生が、今回参加された企業4社それぞれに対して、社会人として働くということや就職試験についての様々な疑問をぶつけあう意見交換会があり、本校の生徒も緊張した様子ながら、「仕事の喜びや苦しさは何ですか」、「面接の時に印象をよくする秘訣は何ですか」などの質問をして、企業からの答えを真剣にノートに記入していた。

今回の交流会を終えて、生徒の１人は、「実際に企業の方からリアルな本音を聞くことができた。これを参考にして、今後の就職活動に役立てていきたい。」と考えている。９月から始まる就職試験に向けて、次第に緊張感や不安が高まってくると思われるが、今日の経験を活かして、ぜひ就職内定をつかみ取ってもらいたい。

積極的に質問をする本校生